



1 はじめに

「洗足池駅周辺地区まちづくり方針」は、洗足池駅周辺地区のさらなる魅力向上や駅周辺のにぎわいの創出、良好な住環境の維持保全、景観形成を進めていくための地区まちづくりの方向性を定めるものです。

2 洗足池駅周辺地区の現況と特性及び課題

地区最大の特徴は、うるおいある水と緑の環境を有する洗足池が立地することです。多くの人に親しまれる洗足池は、地域住民が大切に思っている地域資源となっています。勝海舟ゆかりの資源、千束八幡神社、灯ろう流しなどの歴史・文化資源についても、地区の大切な資源です。

地区の現況・特性、居住者・中学生アンケート調査及び洗足池駅周辺地区まちづくり勉強会やグループ・個別インタビュー等から、地区まちづくりを進めていく上での課題を次のように整理します。

課題1 洗足池に代表される、水と緑の環境を守り共生していくこと

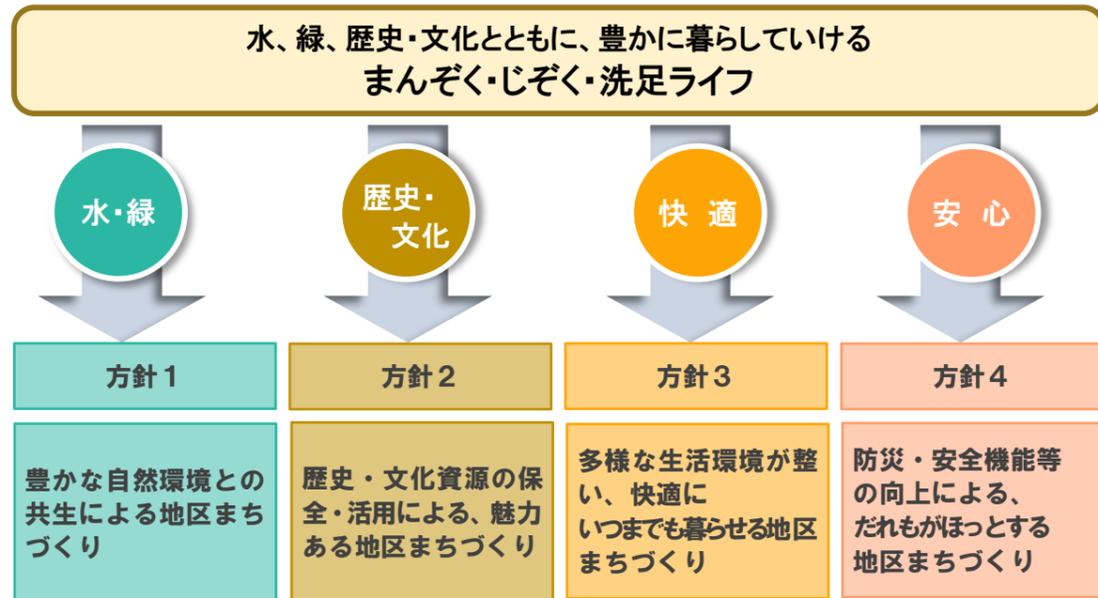
課題2 自然、歴史・文化資源にさらに磨きをかけ、まちの魅力を高めること

課題3 これからも快適な暮らしを維持・充実していくこと

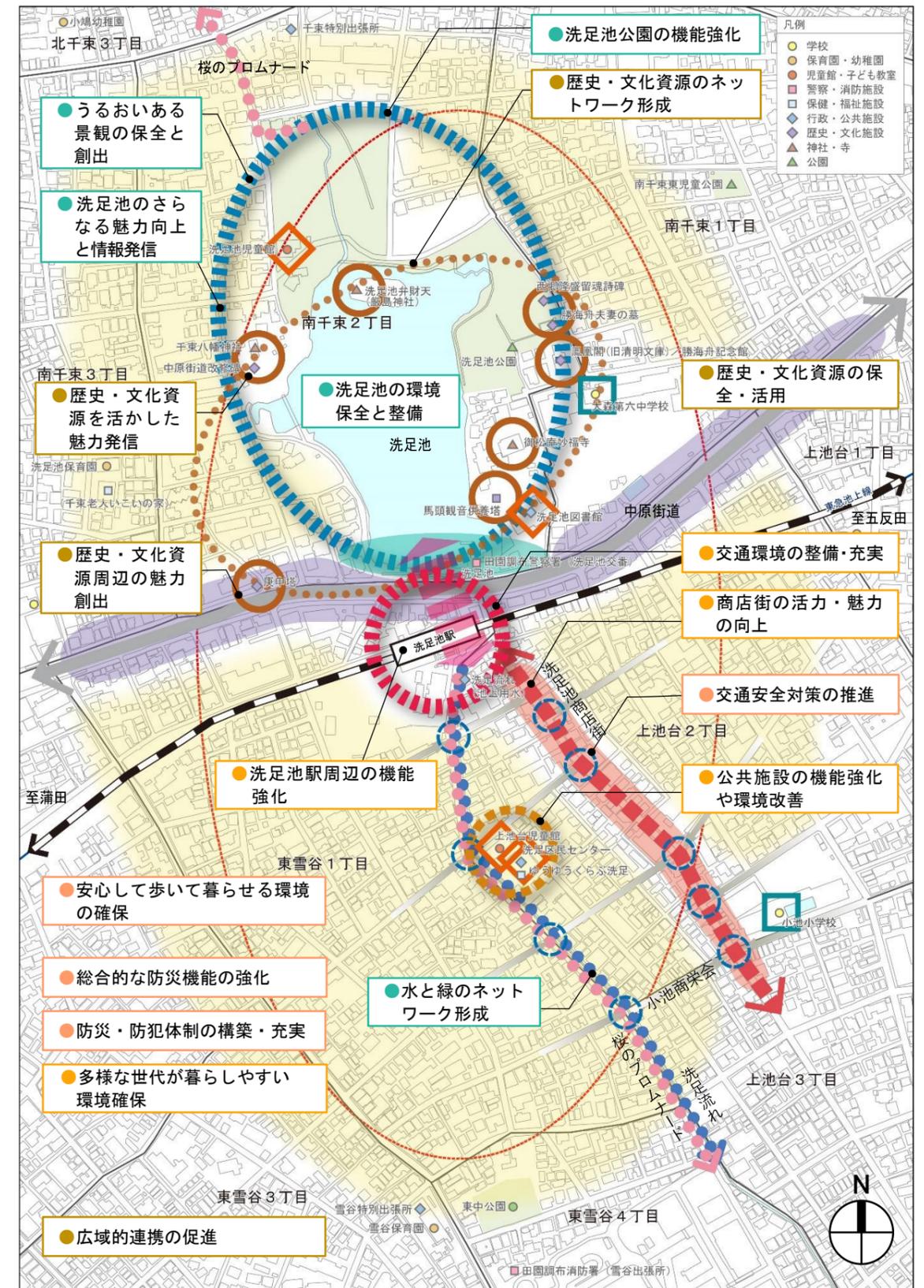
課題4 地域住民の多くが望む安全安心を維持していくこと

3 将来像と基本方針・取組の方向性

※洗足池や鉄道駅等を有する優位性を最大限活かし、生活の舞台としてのまちの基盤を整え、子どもたち、子育て世代、高齢者など多様な世代が快適・安心に満足感を持って、持続的に暮らしていけるまちを目指します。



<地区まちづくりの取組の方向性イメージ>



※上図は、地区まちづくりの取組の方向性を概念的に示したもので、実際の整備範囲や箇所、ルート等を示したものではありません。



4 地区まちづくりの方針

4-1 豊かな自然環境との共生による地区まちづくり

水・緑

- ・本地区の最大の資源・魅力である洗足池が有する自然豊かな環境の保全、より快適な憩いの場等としての機能強化。
- ・洗足流れや桜のプロムナードを活かし、拠点となる洗足池と一体となった水と緑のネットワークの形成。
- ・閑静で良好な暮らしの場としてのうるおいある景観の保全・創出。
- ・洗足池の水辺のロケーションを活かした、さらなる魅力向上と情報発信。



▲ 水と緑のネットワークの形成（洗足流れ）

4-2 歴史・文化資源の保全・活用による、魅力ある地区まちづくり

歴史・文化

- ・勝海舟記念館や神社仏閣等の歴史・文化資源の保全と積極的な活用。
- ・歴史・文化資源の特性や周辺地域の実情等を踏まえた、資源周辺の効果的な修景整備による拠点的魅力の創出。
- ・歴史・文化資源のさらなる活用に向けた、資源間の周遊ネットワーク化の検討。
- ・地区ゆかりのアーティスト及び東急池上線も歴史・文化資源として捉えた、地区の魅力発信。
- ・池上地区、馬込地区と広域的に連携した「馬池洗（まいせん）地区」の一体的・相乗的魅力の創出。



▲ 歴史・文化資源の活用（大田区立勝海舟記念館）

4-3 多様な生活環境が整い、快適にいつまでも暮らせる地区まちづくり

快適

- ・地区の顔となる洗足池駅周辺の機能強化による、地区のにぎわい・交流拠点の形成。
- ・日常的な買い物の場となる商店街について、空き店舗の活用や各店舗が連携したイベント実施・サービス等による活力・魅力の向上。
- ・駐輪場など駅周辺の交通環境の整備・充実。
- ・多くの住民が利用する図書館や洗足区民センター等の公共施設の機能強化や環境改善。



▲ 洗足池駅周辺の機能強化

4-4 防災・安全機能等の向上による、だれもがほっとする地区まちづくり

安心

- ・建築物の耐震化、不燃化、水害対策等の総合的な地区の防災機能強化。
- ・子どもたちの啓発も含めた、地域住民による防災・防犯体制の構築・充実。
- ・東急池上線ガード下や坂道、商店街などでの交通ルール、マナーの啓発や注意喚起及びバリアフリーの充実による、安心して歩ける環境の確保。
- ・児童生徒の安全確保や高齢者の方々が、安心して歩いて暮らせる環境を確保するための通学路や生活道路における交通安全対策の強化。



▲ 坂道での交通安全対策の強化

5 実現に向けて

5-1 協働で進める地区まちづくり

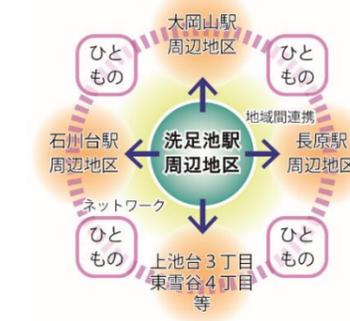


地区まちづくりの将来像実現のためには、まちづくりの主役である住民の皆さまをはじめ、鉄道事業者や商店街など、その地区の暮らしに直接関わる方々の主体的な取り組みが重要となります。

一方で、都市基盤の整備をはじめ、地区まちづくりの総合的な進捗管理や関係機関との調整など、行政が主体的に取り組むべき役割もあります。

このように、地域住民・事業者・行政が、洗足池駅周辺地区のまちづくりに対し、共通の想いを持って、それぞれの役割と責任を果たしながら、協働・連携で取り組んでいくことが求められます。

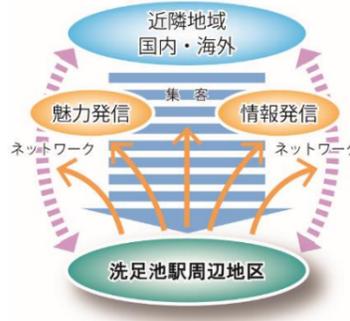
5-2 連携・ネットワークを活かした地区まちづくり



地区まちづくりをより効果的、効率的に進めていくためには、代々地区に永く暮らす人、新たに移住して暮らす人、地区で事業・商売をする人など、様々な立場や背景を持った人々が、個々の繋がりだけでなく、他の地域と繋がりを、人的連携・ネットワークを活かし地区まちづくりに積極的に関わっていくことが求められます。

さらに大岡山駅や長原駅、石川台駅など、今回の対象エリアの近隣地域や、さらに広域的な地域との地域間連携・ネットワークによる効果的な地区まちづくりの推進が求められます。

5-3 地区の魅力発信による効果的な地区まちづくり

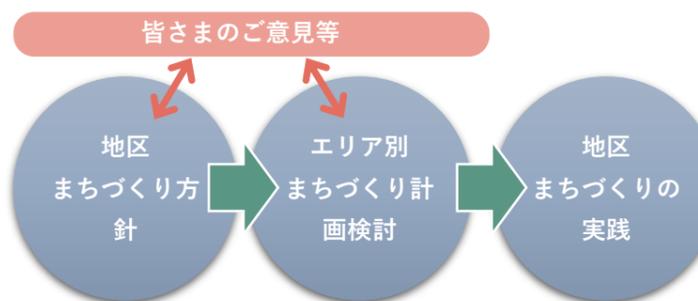


本地区には、洗足池や洗足流れをはじめ、勝海舟記念館など、地区に根付いた自然や歴史・文化資源が多く立地しています。

また、商店街や、地域住民が主体となった洗足池公園でのイベントなど、地元ならではの情報もあります。

これらの魅力的な情報を、広く内外に発信し、洗足池駅周辺地区の積極的なPRや情報を通じた集客、さらに近隣地域や広く国内・海外まで含めた新たなネットワークの形成などを促進していくことが求められます。

5-4 継続的な地区まちづくりの推進



本方針は、将来像の実現に向けて地区の皆さまとともに取り組む、まちづくりの方向性を定めたものです。

今後は、地区まちづくり方針に基づき、さらに地区内をゾーニングし、各エリア別のまちづくり計画について、皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。